

町内の空き家実態調査を実施します

町内には適切な管理が行われず、防災、衛生、景観など住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家などが見受けられます。

そのような空き家の現状を把握するため、町では空き家の所有者、今後の管理の方向性の確認などを含めた空き家実態調査を行います。

住民の生活環境の保全、空き家などの活用のため、空き家実態調査にご協力をお願いします。

○調査の流れ

- ・各地域の空き家情報の収集
- ・町が委託した業者による戸別調査
- ・空き家所有者の意向調査

◎問い合わせ先

役场景観推進課

☎ (86) 1136 [直通]



木造住宅の耐震診断・耐震改修工事に対する補助制度を制定

町では、地震に対する安心・安全なまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断・耐震改修工事に対する補助制度を制定しました。

○対象建築物

昭和56年5月31日以前に着工された現在居住している木造住宅

○補助限度額

- ・耐震診断 6万円
- ・耐震改修工事 30万円

(ただし耐震診断で補強の必要ありと診断されたものに限る。)

※詳しくはお問い合わせください。

◎問い合わせ先

役场景観推進課

☎ (86) 1136 [直通]



体育館リニューアルに2560万円を助成

B & G財団 地域海洋センター修繕助成決定書授与式

6月28日、地域海洋センター修繕助成決定書授与式が役場指江庁舎大ホールで行われました。

これは、長島町B & G海洋センター体育館の改修費用4440万2千円のうち、2560万円をB & G財団が助成するもので、授与式ではB & G財団の古山透常務理事から川添町長へ助成決定通知書が手渡されました。

本町のB & G海洋センター体育館は、艇庫と共にB & G財団が昭和56年に竣工、その後長島町に無償譲渡されました。以来、同館は幼児から高齢者まで町民の健康づくりの拠点として利用されてきました。

今回の修繕では、建設後35年を経過し施設が老朽化したため、トイレ・更衣室の改修を行うとともに照明のLED化、第2玄関の新設、施設の全面バリアフリー化工事を実施。安全で快適な施設に生まれ変わった後は、新たに高齢者を対象とした運動プログラムを導入するなどしながら、

さらなる町民の体力向上、健康増進を図ることとなります。

決定書を受けた後、川添町長は「町としてもこれまで以上に町民に愛され、さらにはB & G財団の提唱する『B & Gプラン』推進の拠点施設となるよう、適正な管理・運営に努めていきます」と、お礼のあいさつを述べました。

当館は、平成29年2月までの完成を目指し、事業を進めていきます。



↑決定通知書を手にする古山常務理事と川添町長